

# 〇〇小学校第2学年 道徳学習指導の実際と考察

日 時：令和2年11月24日（火）第5校時  
授業者：〇〇〇〇小学校 教諭 〇〇〇〇

|       |   |
|-------|---|
| 授業テーマ | 自分の考えをもって話し合い活動に参加し、登場人物のあたたかい心について考えることで、身近にいる人にも温かい心で接したり、親切にしたりしていこうとする心情をもつことができる授業 |
|-------|---|

- 1 主題名 あたたかいところ B-（6）親切、思いやり
- 2 教材名 「とくべつなたからもの」（出典：小学道徳 ゆたかなところ 光文書院）

### 3 主題設定の理由

#### （1）ねらいとする道徳的価値について（価値観）

人間関係を築いていくためには、温かい心で相手に接することが大切である。困っている人を見たときに、とっさに自分にできることはないかと考えて手を差し伸べようとする気持ちが温かい心である。幼い人や友達に温かい心をもって接することによって、相手への親切な行いが生まれると同時に、自分が人の役に立ったという喜びが生まれる。それがこれからも思いやりのある行動をしようとする意欲を高めるのである。相手の立場に立って考え行動することは、自己中心的な態度を改めたり、他者との人間関係を深めたりすることにもつながり、人間関係をより豊かにしていくのである。

#### （2）児童の実態について（児童観）

本学級の児童は男子11名、女子5名、計16名であり、「よいこと」に憧れ、人の助けになるようなことを進んでしようとする気持ちが強い。道徳アンケートでは、「周りの人に優しい気持ちで親切にすることができますか。」という問いに対して15名が「あてはまる・まああてはまる」と答えており、日常的に何か困っている友達がいるとすぐに行動に移して助けてあげようとしていることがわかる。しかし、相手が本当に欲しいことを考えているかという点、自己満足で終わっていることがある。そこで、人間関係の中で相手の心情を想像したり、推察したりする力を育てる必要を感じる。本学習によって、相手の気持ちを考え、よい行いをしたときに得られる気持ちの良さや、親切な行為がもたらす喜びや温かい人間関係について学ばせたい。

#### （3）教材及び指導について（教材観及び指導観）

本教材は、くまが困っているねずみの子に出会い、自分にできることを一生懸命考え実行するというお話である。自分が拾い集めた宝物を捨て、そのかばんにねずみの子を入れて助け出すくまの姿や、かばんに一つだけ残っていたどんぐりを握りしめ、「これ、おにいちゃんのためからもの。」と手渡すねずみの子の姿から、「親切の達成感」や「親切でつながる温かい関係」などの思いやり・親切のよさをしみじみ感じることができる教材である。

最初に「温かい心」についてイメージを膨らませ、本授業で大切にすることに意識を向けさせる。物語の内容理解を助け、集中力を持続させるため挿絵を使って話を進め、くまの親切な行動や決断の場面に着目し、自分ならどうするか考えさせていくようにする。窮地の中で、宝物を捨てることを決断したくまの心、助けてくれた感謝の気持ちをどんぐりに託すねずみの行為は、全て温かい心のもととなっていることに導きたい。さらに、「とくべつ」の意味を問うことで、親切な行為がもたらした達成感や心が通じ合う喜びがあることにも気付かせたい。

### 4 本時のねらい

くまくんが宝物を捨ててねずみの子を助けた思いを話し合うことを通して、身近な人に対して温かい心をもって、親切にしていこうとする心情を育てる。

### 5 板書計画 (実際の板書)



## 6 学習過程

| 段階 | 学習活動・内容<br>(◎中心発問 ○発問)  | 時間  | ○教師の支援および指導上の留意点<br>※評価  |
|----|---|-----|--|
| 導入 | <p>1 ねらいとする道徳的価値の方向付けをし、学習課題を確認する。</p> <p>(1) 「あたたかいところ」についての考えを話す。</p> <p>○ あたたかい心とは、どんな心でしょうか。</p> <p>(2) 学習課題を確認する。</p> <p>◎ あたたかいところとは、どんなところでしょうか。</p>   | 5   | <p>○ 終末で振り返りを書く時に変容を捉えられるように、持っていると思うときは○、そうでないと思うときは△をノートに書かせる。</p>   |
| 展開 | <p>2 教材文を読み、あたたかい心について考え、話し合う。</p> <p>(1) 話の概要をとらえ、くまくんの行動の理由を考える。</p> <p>○ ねずみの子を見つけたとき、みんながくまくだったら、どう声をかけますか。</p> <p>○ あなたなら、たからものを捨てられますか。</p> <p>◎ くまくんは、どうして宝物を捨ててまでねずみの子を助けたかったのでしょうか。</p> <p>(2) くまくんが「とくべつなたからもの」と言った理由を考える。</p> <p>○ 「とくべつなたからもの」とは、どういうことでしょうか。</p> | 3 3 | <p>○ 集中してお話を聞くことができるように、全員を前に集める。お話の登場人物を紹介し、挿絵を使いながら教師が範読をする。</p> <p>○ くまくんの行動に着目し、自分がくまくだったら、どう声をかけるか問いかける。</p> <p>○ 捨てられる・捨てられないにネームプレートを貼り、自分の立場を明らかにさせる。</p> <p>○ くまの気持ちを想像して、ワークシートに書かせた後に、全体で交流を図る。</p> <p>○ くまの相手の立場や気持ちを思いやる心、命を大切に思う心への気付きを大切にしていく。</p> <p>○ ねずみの子からもらったどんぐりにこめられていたものは何か、グループで話し合い、全体で話し合う。</p> <p>○ ねずみの子が助けてもらったことに対する感謝やお礼、くまくんに対する思いやる心、親切なお返しを受けた喜びの気持ちなどの気付きを取り上げていく。</p> |
| 終末 | <p>3 学習を通して考えたことを書く。</p> <p>○ 今日の学習で学んだことや感想を書きましょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・はじめは、～</li> <li>・これからは、～</li> </ul>  | 7   | <p>○ 導入で見つめた考えにも触れながら、今までの自分を振り返る。</p> <p>※ 身近な人に対して温かい心をもって親切にすることのよさが分かり、温かい心について自分のこととして考えている。</p>  |

## 7 考察

### 質の高い多様な指導方法の視点から

- 教材提示について、教科書の挿絵をもとに紙芝居を作成し、絵を見ながら話の筋をとらえさせたり、登場人物の思いをとらえたりさせることができた。



### 子ども一人一人を受け止めて認め、励ます評価の視点から

- 低学年としては、道徳ノートに主題について、導入時に考えていたことを振り返り、本時の価値について考えるようにした。本時では、それらに加えて、これまでの自分の行動を思い出すという視点で書かせ、自分自身との関わりから理解を深めさせる必要があったと考えられる。